

## 上路式ガーダー橋S70(F) 共通説明書

Deck Girder Bridge S70 (F)

このたびはトミックス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前にこの説明書をよくお読みの上、取り扱いには十分注意してお楽しみください。また、別売のトミックス総合ガイド(カタログ)では、各製品を紹介していますので、あわせてお読みいただくことをおすすめいたします。

### ⚠ 注意 (かならずお読みください)

- 商品特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。
- この商品には小さな部品が使われており、誤って飲み込むと思わぬ事故の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- レールの先端などは機能上尖った部分があります。誤ってケガなどのないよう、取り扱いには注意してください。
- レール間をショートさせないでください。パワーユニットなどが発熱する恐れがあります。
- 加工組み立ての際に出たクズは、すぐに捨ててください。

※この説明書は必ず保管しておいてください。

### 取り扱い上のご注意

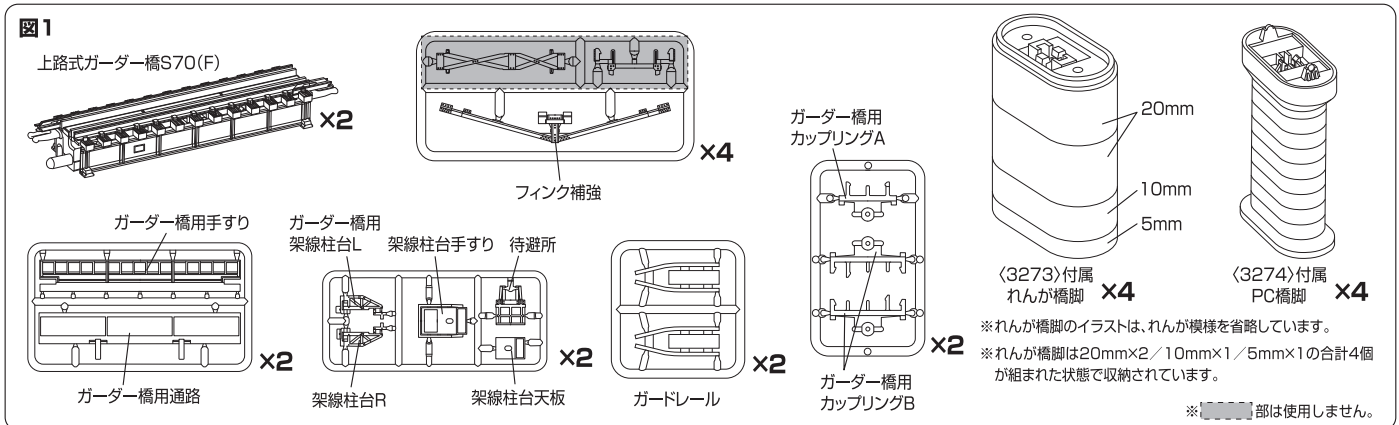
1. 取り扱いは、ていねいに行なってください。
2. 高温の場所(直射日光が当たるところ、暖房器具の近くなど)に長時間放置しないでください。変形する可能性があります。また、シンナーなどの薬品にもご注意ください。
3. 刃物などの工具を使用する際は、ケガなどの無いよう十分ご注意ください。
4. レールの着脱は水平に行なってください。ひねったりしないようご注意ください。無理な角度での引き抜きや差し込みを繰り返しますと、ジョイナーなどレール先端をいためます。

5. 運転するにはレールが確実に接続されているか確認してください。もし接続したレールどうしに段差がありますと車両が脱線するばかりか、レールを早くいためることになります。
6. レールの通電機能を良好に保つため、こまめにすべてのレールを別売のトミックスレールクリーナーなどでみがいた後、乾ぶきしてください。特に油などを付けたくないようご注意ください。

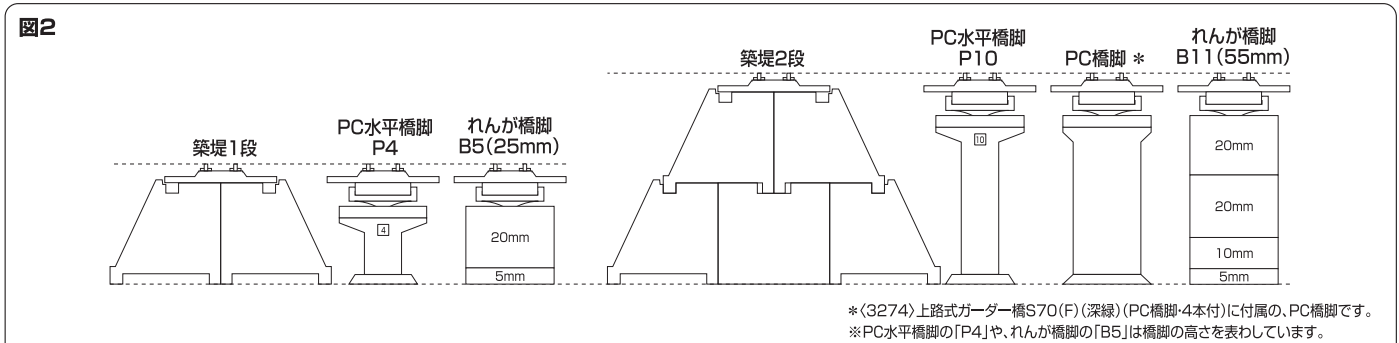
お客様が独自でお考えのレイアウトに関するご質問にはお答えできませんので、ご了承ください。

### ●セット内容

本製品は、以下のセット内容となっています。ランナーに付いている部品はニッパーなどでランナーの根元からていねいに切りはなし、説明にしたがって取り付けてください。なお、刃物などの工具を使用する際は、ケガなどのないよう十分ご注意ください。

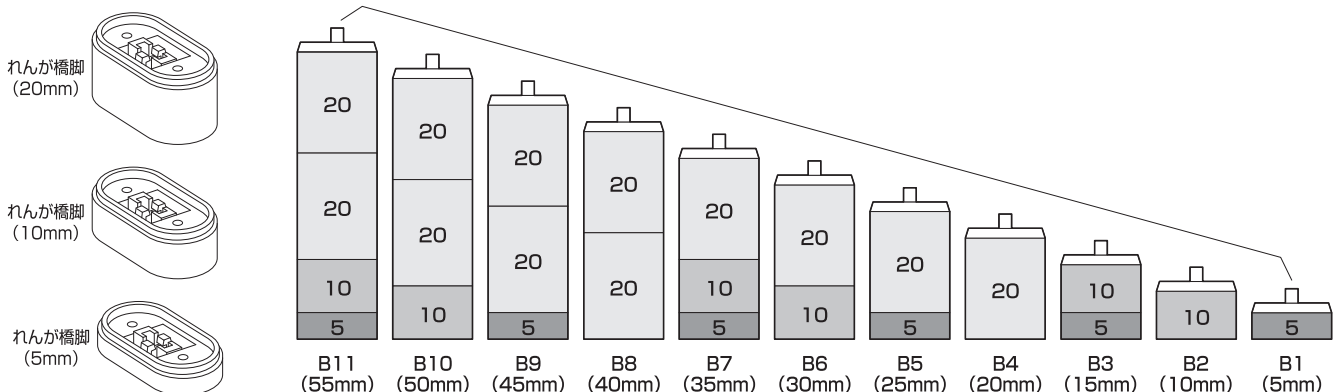


### ●各橋脚の高さの規格



れんが橋脚は組み合わせによって高さを調整することができます。お好みでご使用ください。

※B1~B11はれんが橋脚の高さを表わしています。

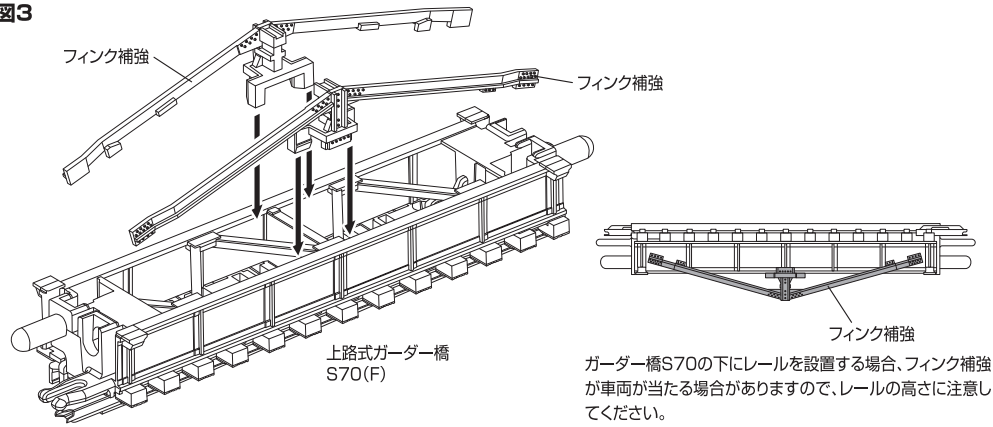


# 上路式ガーダー橋S70の組み立て

## ●フィンク補強の取り付け方

フィンク補強は図3を参考に向きに注意して取り付けてください。もし取り付けがゆるい場合は、ごく少量のゴム系接着剤を使用し固定してください。  
 なお、フィンク補強は真ん中部分で保持されます。

図3

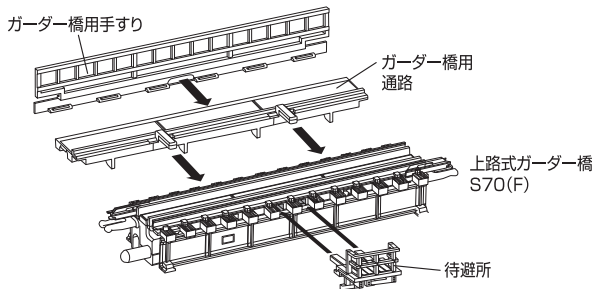


## ●ガーダー橋用手すり・通路・待避所、別売の架線柱の取り付け方

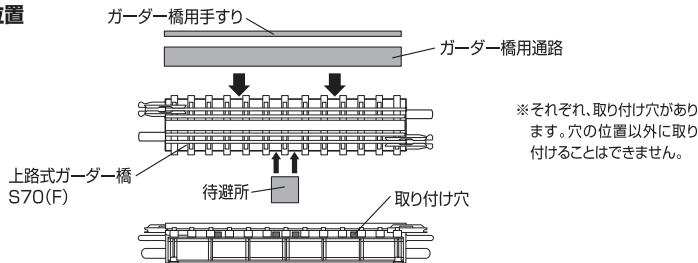
各パーツはお好みで図4を参考に取り付けてください。

また、通路には別売の(3057)ワイドレール用側壁(F)C541・S72.5・S70・E・ワイド化PR(L)541(280)・PX280(8枚入)(成形色:グレー)の手すりや側壁を取り付けることも可能です。

図4

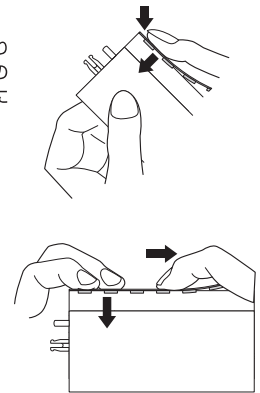


### ■取り付け位置



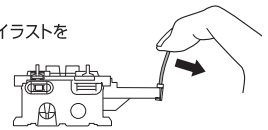
### ■取り付け方

1. ガーダー橋用通路と手すりの端をあわせて、手すりの端付近のツメを通路側面にはめこみます。
2. 片方の手で端部を押さえ、もう片方の指を端付近からスライドさせて、手すりを取り付けます。



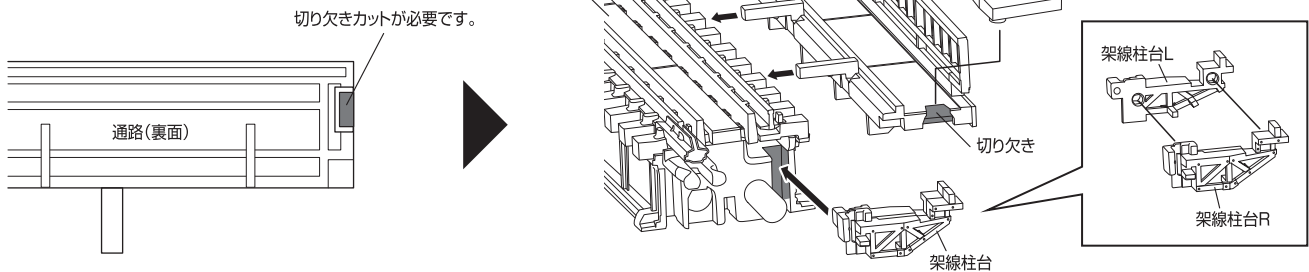
### ■取りはずし方

手すりの上部を持ち、下のイラストを参考に取り外します。



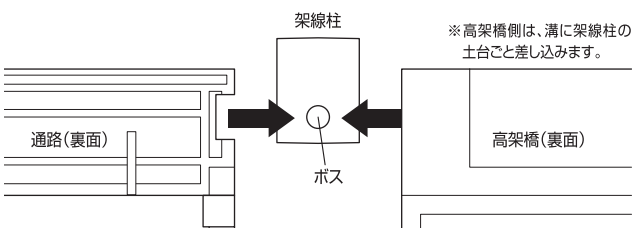
### ■別売の架線柱を取り付ける場合

別売の架線柱を取り付ける場合、通路裏面の切り欠きをカットする必要があります。イラストを参考にしてください。もし取り付けがゆるい場合は、ごく少量のゴム系接着剤などを使用し固定してください。

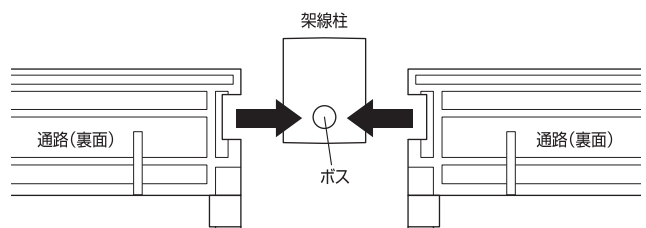


上路式ガーダー橋どうしを接続する場合のみ、お好みで通路の下に架線柱台を取り付けることができます。架線柱台の取り付けについては、図5も参照してください。

### ■上路式ガーダー橋と高架橋などを接続する場合



### ■上路式ガーダー橋どうしを接続する場合



※イラストは高架橋の場合ですが、架線柱が取り付けられる他製品の場合も基本的に同じです。

接続する製品がワイドレールで、ワイドレール側に架線柱を取り付ける場合は通路を切欠く必要はありません。

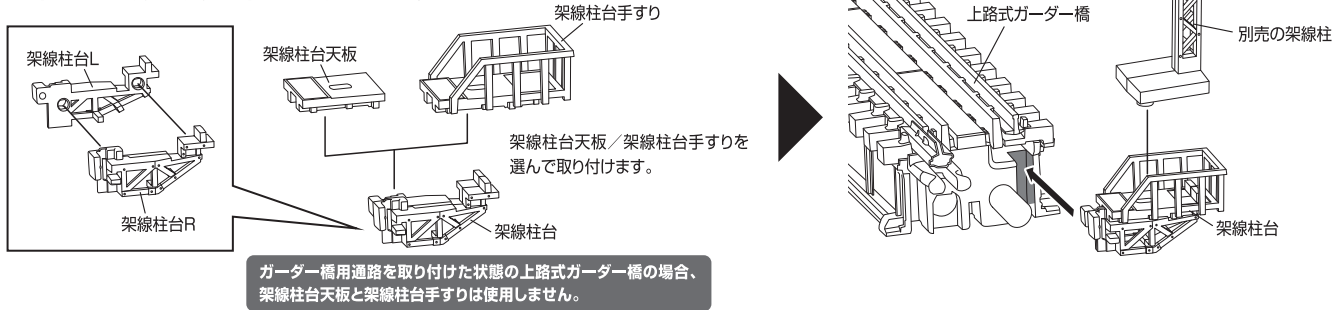
## ● 架線柱台の使い方について ※架線柱を取り付けない場合は使用しません。

上路式ガーダー橋どうしを接続する場合のみ、架線柱台を使って別売の各種架線柱を取り付けることが可能です。

**図5** 架線柱台は構造上、レールを接続する前に指定位置に取り付けます。架線柱台を挟み込むようにレールを接続してください。レールを接続後に架線柱台を取り付けることはできません。

架線柱台は上路式ガーダー橋どうしを接続する場合のみ、取り付けることが可能です。

### ■ 架線柱台を使って別売の架線柱を取り付ける場合



## ● レールの先端について

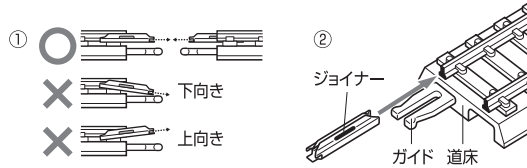
本製品のレールはジョイナーとガイドにより、レールどうしの接続が確実にできるようになっています。

各項目を参考にしてお取り扱いください。

- ①レールを接続する場合は、ジョイナーの向きを水平にしてください。
- ②ジョイナーがはずれた場合は、ジョイナーの向きに注意して取り付けてください。尖った部分などでケガなどないように注意してください。

### ● 交換用パーツリスト ジョイナー O110

**図6**

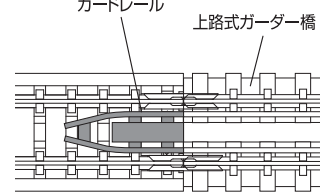


## ● ガードレールについて

ガードレールはお好みで上路式ガーダー橋につなげるレールに設置してください。ガードレールは、車両に接触しないように、両面テープなどを使用してレール上面より上に飛び出さないように固定してください。

- ※C243未満のカーブレールには取り付けられません。
- ※車輪に接触する場合がありますので、ガードレールをランナーより切り取る際ははていぬいにカットしてください。
- ※ポイントレールなど一部のレールには取り付けられません。

**図7**

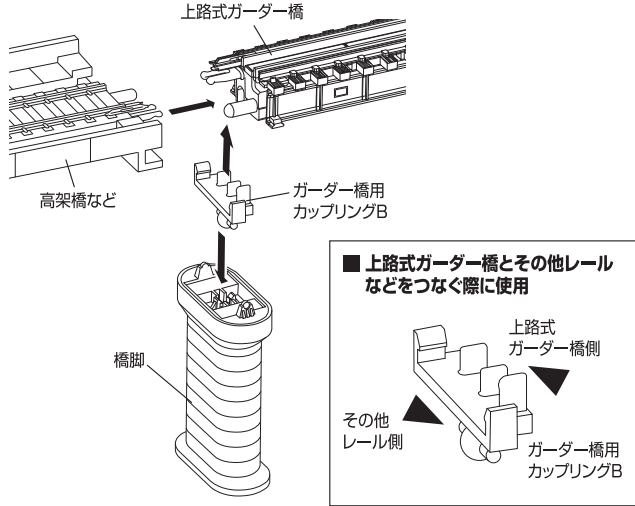


## ● 橋脚の取り付け

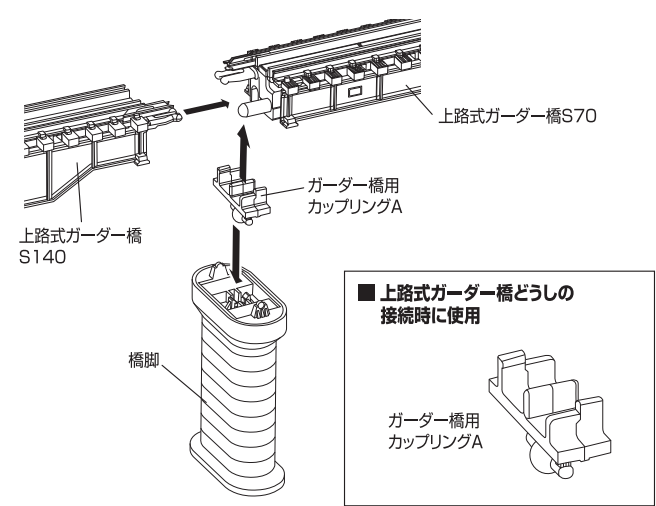
組み立てた上路式ガーダー橋を橋脚に取り付ける際は、図8を参考に取り付けてください。

- ※イラストはPC橋脚ですが、他の橋脚の場合も取り付け方は同様です。 ※上路式ガーダー橋とワイドレール用架堤・上路式単線トラス鉄橋などを接続する場合は、橋脚への取り付けは不要です。
- ※別売の(PY-901)カップリングに取り付けることも可能ですが、<PY-901>カップリングを使用した場合、ガーダー橋用の架線柱台とカップリングが干渉するため架線柱台の取り付けができません。

**図8**



※架線柱台を取り付ける場合は、カップリングAを使用します。詳しくは図5も参照してください。

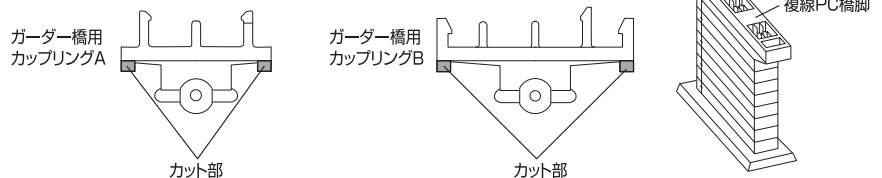


## ● 別売の複線PC橋脚を使用する場合

組み立てた上路式ガーダー橋を別売の複線PC橋脚に取り付ける際は、図9を参考にしてください。

**図9**

複線PC橋脚を使用する場合、ガード橋用カップリングの一部が橋脚カバーに干渉します。橋脚カバーを取り付ける場合は、下のイラストを参考に[ ]部をきれいにカットしてから、図8を参考にガード橋用カップリングを橋脚に取り付けてください。橋脚カバーを取り付けない場合は、ガード橋用カップリングを複線PC橋脚に直接取り付けてください。



※イラスト・写真などは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。また、トミーテックへお問い合わせの場合には、**トミーテックお客様相談室 トミックス係TEL:03-3695-3161(代)**までご連絡ください。

電話受付 月～金曜日(祝・休日を除く)10～17時

本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限ります。  
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

**TOMYTEC** 発売元  
株式会社トミーテック  
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

2025/12 更新版